

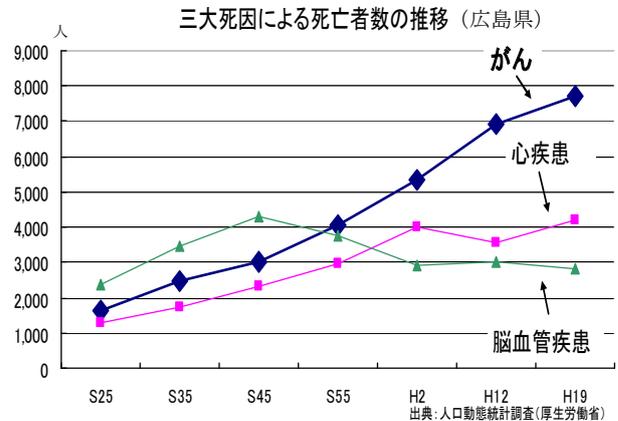
I 「広島県がん対策推進計画」の概要について

1 広島県のがんの状況

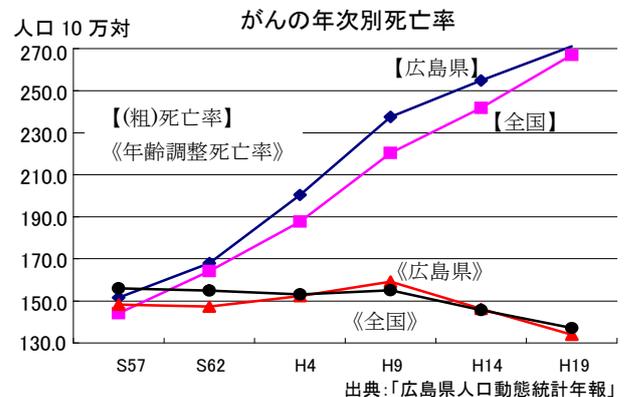
(1) がん死亡の状況

がんは、昭和54（1979）年から死亡原因の第1位(※)で、県民の健康と生活にとって重大な脅威となっています。また、働き盛りの世代における死亡者の約半数を占めるなど、家庭や社会に大きな影響を及ぼしています。

※死亡者数は全死亡者の約3割で、高齢化等により増加しています。



がんによる死亡率（人口10万対）は増加傾向にあり、高齢化率の高い広島県は全国平均をやや上回っています。しかし、高齢化の要素を取り除いた「年齢調整死亡率」では、全国平均とほぼ同様に、横ばいから減少傾向で推移しています。

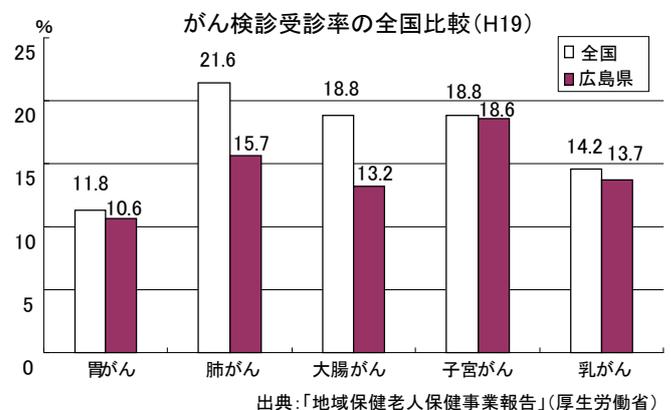


(2) がん医療提供体制の状況

広島県では約60の病院において、胃がんや大腸がんの手術が実施されているなど、基本的な医療機能は確保されつつあります。また、「がん診療連携拠点病院」が県内すべての二次保健医療圏に整備されているなど、身近な地域で質の高いがん医療を受けられる基盤は、概ね確保されています。

(3) がん検診の受診状況

市町の実施するがん検診の受診率は約11～19%で、全国平均と比べて低い状況にあります。



2 計画策定の趣旨

このような状況を背景として、広島県では、これまでのがん対策の更なる充実を目指し、平成20年3月に、がん対策を総合的・計画的に推進するための指針となる「広島県がん対策推進計画」を策定しました。

3 計画期間と全体目標

(1) 計画期間

計画期間は、平成20（2008）～24（2012）年度の5年間です。

(2) 全体目標

計画により達成を目指す「全体目標」は、次のとおりです。

- ① がんによる死亡率（75歳未満の年齢調整死亡率）の10%削減
- ② すべてのがん患者及び家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の維持向上

○「全体目標」の達成に向けた進捗状況

項目		計画策定時 (H18年度数値)	現状 (H19年度数値)	目標(H24) (H22年度数値)
75歳未満の年齢調整死亡率 (人口10万対)	男性	119.3人	117.3人 (1.7%減少)	107.4人 (10%減少)
	女性	60.0人	59.5人 (0.8%減少)	54.0人 (10%減少)

4 取組分野と重点的な取組課題

計画では、「全体目標」の達成に必要な取組として、「がん予防」、「がん検診」、「がん医療（緩和ケアを含む）」、「情報提供・相談支援」、「がん登録」の5分野を掲げ、中でも、重点的に取り組むべき課題として、次の5つの項目を定めています。

- ① **がん検診受診率の向上**
 - ・がんの早期発見に寄与するがん検診受診の促進
 - ・がん検診の精度管理の推進
- ② **がん医療提供体制の充実**
 - ・より質が高く効果的な医療を提供する医療連携体制の構築
 - ・専門的知識・技能を持つ人材育成の推進
- ③ **治療の初期段階からの緩和ケアの推進**
 - ・積極的な治療と並行して適切に提供される緩和ケアの推進
 - ・希望に応じて施設や在宅で安心して利用できる体制の構築
- ④ **患者の視点に立った情報提供・相談支援の推進**
 - ・がん患者が主体的に関与するための情報の提供
 - ・不安や悩みへの適切な助言が可能な相談支援体制の構築
- ⑤ **がん登録の推進**
 - ・広島県独自の高精度の地域がん登録の充実

5 主体ごとの取組内容

計画では、このような取組分野に対して、計画策定時点での広島県のがんを取巻く現状に基づき、分野ごとの個別の対策と目標を設定するとともに、行政、医療機関、県民・患者・家族のそれぞれの役割と、その役割に応じて何をすべきかを明示しています。